

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦 ゆかり  
コーチ 山 崎 純 男

平成30年度 第48回長崎市会長杯中学校バスケットボール大会 結果報告(初日)

- 1 場 所 小島中学校
- 2 期 間 平成30年09月08日(土)・09日(日)・15日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				1回戦			滑石			2回戦			3回戦			準決勝			決勝			備考			
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古 賀 小学校		0	0	0																	
5	溝 脇	②	166	古 賀 小学校		1	0	0																	
6	前 道	②	154	高 城 台 小学校		1	0	0																	
7	緒 方	②	154	高 城 台 小学校		8	2	0																	
8	小 谷 川	②	158	高 城 台 小学校		8	4	2																	
9	寺 島	②	163	高 城 台 小学校	S	19	6	2																	
10	吉 田	②	150	矢 上 小学校		0	0	0																	
11	本 多	②	151	矢 上 小学校		0	0	0																	
12	下 釜	②	147	高 城 台 小学校		8	0	1																	
13	布 志 木	①	155	日 見 小学校	S	23	2	1																	
14	藤 下	①	155	矢 上 小学校		13	0	1																	
15	木 下	①	154	古 賀 小学校	S	24	6	0																	
16	江 口	①	156	古 賀 小学校	S	24	3	2																	
17	持 永	①	161	矢 上 小学校		0	0	0																	
18	西 川	①	164	古 賀 小学校	S	31	9	1																	
				1P	160	10	18		0				0					0							
	左	:	東長崎	2P		10	14																		
	右	:	相手チーム	3P		6	23																		
				4P		6	18																		
				計	●	32	73																		

5 所 感

1日目で終了

ハーフタイムに「できないことが多いからこんな差になっているんだけど、その中でこれだけはできているよねということが何かあるか？」と選手に聞きました。試合に出ている選手とは限りませんが、ベンチメンバーでもいいのですが誰も手を挙げないまま沈黙の時間が過ぎました。「そうか、それじゃダメだな」と言い、正解も知らないまま私は選手たちを後半のコートに送り出しました。

6月の市中総体でチームが代替わりしてから、私はシュートと1対1のディフェンスに練習時間の半分以上を割いてきました。もう3ヶ月になるのにシュートはまだ素人の域を出ません。しかし、ディフェンスではごく最近強調しはじめたことがこの試合でしばしば登場したのです。私は良いことも悪いことも私からコメントを出さずにまず選手に問いかけます。しばしば登場しているナイスディフェンスについて誰かが正解を出すかな？と思い冒頭の問いかけをしたのですがダメでした。

ディフェンスで最近強調しはじめたことについて述べます。ミニから高校までを通じてどの階層でも、ディフェンスができない選手は、相手がドリブルで進んでいるのに「止めたい！」という気持ちを抑えきれず、まだ横並び状態なのに腹を突き出し足幅を広げてコースチェック体勢を取ります。当然止まりません。そして最後はハンザイスタイルで置き去りにされるのです。

ひがながの選手たちもそんな選手が山盛りなので、「止めなければまず走って追いつけ。追いついたらそこではまだ横並び状態なので止めましたポーズをせず、さらに走って追い越せ。相手がレイアップシュートに持ち込むまでに追い越せないようだったら、シュートされたあとでもいいから追い越して壁まで突っ切れ。

それが今日、あちこちで登場したのです。でも選手からは「これができるようになりました」というセリフは出てきませんでした。ハーフタイムの「そうか、それじゃダメだな」のままでは何も前に進まないの、4ピリに起こったナイスディフェンスの事例を取り出し、「ほら、これがあちこちで出るようになったんだよ」と言いました。褒められる叱られるではなく、自分を褒める、自分を叱るようになればグンとランクアップするのですが…。

文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦 ゆかり  
コーチ 山 崎 純 男

第30回 鶴鳴杯中学生バスケットボール大会 結果報告 (最終日)

- 1 場 所 長崎女子高校第1体育館
- 2 期 間 平成30年05月26(土)・27日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 戸町			リーグ2 布津			CONS1 桜馬場			CONS2 清水						備考											
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	渡 辺	③	160	日見小学校	S	27	5	2					S	32	10	0	S	32	1	0										2日目 同じ
5	古 場	③	161	古賀小学校	S	8	2	1					S	32	4	3	S	14	5	2										2日目 同じ
6	町 田	③	151	高城台小学校									S	24	2	2	S	27	1	0										2日目 同じ
7	山 本	③	160	矢上小学校									16	1	1		18	0	0											2日目 同じ
8	井 手	③	153	高城台小学校	S	8	0	1					S	32	5	2	S	32	12	4										2日目 同じ
9	寺 島	②	163	高城台小学校	S	21	0	3		24	9	3																		2日目 持永み
10	溝 脇	②	166	高城台小学校		16	2	1	S	8	0	1																		2日目 西村
11	小谷川	②	158	高城台小学校					S	16	2	3																		2日目 吉田
12	緒 方	②	154	高城台小学校					S	24	3	0																		2日目 松尾
13	前 道	②	154	高城台小学校						8	0	1																		2日目 本多
14	江 口	①	156	古賀小学校		24	4	1	S	32	2	2																		なし
15	木 下	①	154	古賀小学校		24	8	1	S	32	4	0																		なし
16	藤 下	①	155	矢上小学校		16	3	1					S	24	1	1	S	32	6	1										2日目 同じ
17	布志木	①	155	日見小学校						16	0	0						5	2	0										2日目 持永ゆ
18	西 川	①	164	古賀小学校	S	16	3	0																						2日目 同じ
				1P	160	7	14		160	5	34		160	0	12		160	9	4		0			0						
左 : 東長崎				2P		4	20			4	21			8	16			7	1											
右 : 相手チーム				3P		8	18			7	20			8	17			14	10											
				4P		8	29			4	18			7	12			12	9											
				計	●	27	81		●	20	93		●	23	57		○	42	24											

5 所 感

1日目

1試合目が終了したあと、高城台小学校の先生に明日の運動会は実施か延期か問い合わせをしました。返事は、天気がよくなりそうなので実施予定だということでした。それを聞いて2試合目は、明日姉弟の運動会観戦のため鶴鳴杯には参加しない8名の選手のみを試合に出しました。

試合の内容と展開について述べます。コートに送り出す選手のほとんどが、見える景色の様相から次に何が起ころうとしているかを探そうとしないか、探そうとしても探せません。ですから指示を出すのも項目を少なくして、今の段階で本人に学んで欲しいことだけに絞りこんでことばをかけるのですが、それでもアドバイスがプレイに反映されません。

全学年を通して、経験を積み重ねていけば私のアドバイスを取り込んでプレイできるようになるかなあと思えるのは、ハナ・サヤカ・ヒナノの3人だけです。上級生に1人でもそんな選手が居れば他の選手への波及の速度が違ってくるのですが・・・ま、根気強く取り組むしかないでしょう。

2日目

19人が姉弟の運動会応援で不参加なので鶴鳴杯に参加したのは14名(選手13+マネ1)だけです。今日の試合で終始一貫して言い続けたのは“気配り”と“声かけ”です。ひがながの選手たちは大半が危なっかしい選手ですが、今日はさらに危なっかしい選手たちばかりで試合をしなければなりません。ですからミスが多発します。それを「何回ミスすれば気が済むんだ！」などと怒鳴りつけても仕方がありません。

ミスする選手は①メンタルが危なっかしい②技術が危なっかしい③体力的に危なっかしいと分類されますが、通常の練習でそれは分かっていることです。もし技術的に危なっかしいヒナノ(新入生なので危なっかしくて当然)にパスする場合は「行け！」とか「撃て！」など、その後のプレイを応援してやる声かけをしてやればいのです。メンタルが危なっかしいユメノが何すればいいか迷っておどおどしていたら「こっち大丈夫！」など、困ったときはパスを受けてやるよという一言を発してやればユメノは安心してプレイができるのです。

声かけの大半をカエデに指示しましたが、それはカエデに責任を負わせるという意味ではありません。他の上級生もそれができなければならぬのです。そういうことができるのを一致団結と言います。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦 ゆかり  
コーチ 山 崎 純 男

平成30年度 第33回コヤスポカップ 結果報告 (2日目)

- 1 場 所 飯盛中学校他
- 2 期 間 平成30年08月25(土) - 27日(月)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 郡			リーグ2 飯盛			CON1 瑞穂			CON2 岩屋									備考							
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古 賀 小学校		0	0	0		7	0	0		7	1	0		1	0	0									
5	溝 脇	②	166	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		7	4	0		0	0	0									
6	西 村	②	154	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
7	緒 方	②	154	高城台 小学校		7	4	0		7	0	0		7	0	1		0	0	0									
8	小谷川	②	158	高城台 小学校		7	4	1		17	3	1		11	7	3		10	9	0									
9	寺 島	②	163	高城台 小学校	S	21	6	0	S	4	2	0		0	0	0		0	0	0									左足関節捻挫
10	後 藤	②	152	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
11	吉 田	②	163	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
12	下 釜	②	147	高城台 小学校		7	0	0		7	4	0		14	10	0		17	5	1									
13	布志木	①	155	日 見 小学校	S	21	1	1		7	4	0	S	21	6	0	S	28	8	0									
14	藤 下	①	155	矢 上 小学校		7	8	0	S	21	6	0	S	14	6	1	S	11	0	3									
15	木 下	①	154	古 賀 小学校	S	21	7	0	S	21	6	0	S	21	8	2	S	28	14	0									
16	江 口	①	156	古 賀 小学校	S	21	0	3	S	21	3	0	S	21	6	2	S	18	10	5									
17	持 永	①	161	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
18	西 川	①	164	古 賀 小学校	S	28	2	3	S	28	4	1	S	17	9	5	S	27	12	2									
				1P	140	2	22		140	10	10		140	18	10		140	17	14		0				0				
	左	:	東長崎	2P	14	15			8	20			9	13			13	6											
	右	:	相手チーム	3P	0	29			6	6			9	8			12	7											
				4P	16	8			8	16			23	5			14	10											
				○=勝ち ●=負け	計	●	32	74	●	32	52	○	59	36	○	56	37												

5 所 感

1日目

常々選手たちに言っていることは「気付きを増やせ」です。もちろん気付きを増やすための観点は提供します。走ることや攻撃の方法をいくら教えても、気付き→学ぶという学習サイクルが選手のアタマの中に出来上がらなければそれは生きてきません。逆にそのサイクルが出来上がれば私が教えることはどんどん吸収されます。

今朝の出来事から話します。試合会場には8時に到着しました。それから私はバスを置くために飯盛体育館に行き、そこからバスに積み込んだ自転車で試合会場に戻りました。8時25分でした。しかし、フロアに選手たちはいません。それから5分後選手たちがフロアに現れました。試合開始は9時です。こんな準備の仕方では当然良い試合はできません。初戦は水面で口をパクパクしながら泳ぐ酸素不足の金魚みたいな試合になってしまいました。

2試合目が終わったあと、12時30分開始の試合はTO当番。7名がその任に当たります。残り24名の選手たちはどうする？と観察していると、体育館周辺のスペースを探し出し、そこで車座になって弁当を食べ始めました。実にのんびりと。様子を見てみると12時30分開始の試合の前半ではほぼみんな弁当を食べ終わっていました。食べ終わったあとすぐに体育館の観覧席から試合を観戦し始めたのが9名。そのあと4ピリが始まってから観戦し始めたのが5名。4ピリが残分2分30秒になった頃ようやく観覧席に姿を現したのが10名。帰りかけに

「明日の試合は何時から？相手はどこ？」と聞きましたが返事は返ってきません。全員に資料を提示していますがそれをちゃんと見ていないのです。技術や戦術を教えるまでにはまだまだ遠い道程です。

2日目

今日のキーワードは「頑張ってる自分を褒めろよ」です。岩屋戦の後半はフルコートプレスを敷きました。ナミはボールに圧力をかけ、抜かれたらダッシュして追いつき、シュートを撃たれたらリバウンドに飛び込み、相手のプレスをドリブルで突破します。私はミニバス時代からナミをずっと見てきていますが、こんなに動き回るナミは初めて見ます。当然体力を消耗して疲れます。タイムアウトの時にベンチに戻ってくるナミは泣きそうな顔をしていました。そのときにかけたことばがこれです。そうやって檄を飛ばすだけでなく、4ピリの終わり頃に「頑張ったから休養だ。少し休んだらまた出るぞ。準備しておけ」と言って休ませました。ナミ！これをきっかけにホンモノになれ。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎純男

平成30年度 第13回南島原カップ中学生バスケットボール大会 結果報告 (最終日)

- 1 場 所 深江体育館
- 2 期 間 平成30年11月03日(土)・04日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 深布北			リーグ2 川棚			CONS1 小野			CONS2 城北									備考							
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古賀小学校		6	2	0		7	2	0		14	2	1		14	2	1									
5	溝 脇	②	166	古賀小学校		9	0	1		16	2	1		7	0	1		6	2	0									
6	前 道	②	154	高城台小学校		7	1	1		9	5	0		10	2	0		14	7	2									
7	緒 方	②	154	高城台小学校		16	2	0		16	4	0		14	4	2		14	4	1									
8	小谷川	②	158	高城台小学校		16	13	1		16	4	1		7	0	1		8	7	0									
9	寺 島	②	163	高城台小学校	S	17	0	1		16	2	0		14	8	1		14	5	0									
10	持 永	①	161	矢上小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
11	米 嶋	①	155	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
12	下 釜	②	147	高城台小学校		10	4	1		0	0	0		4	0	1		0	0	0									
13	布志木	①	155	日見小学校	S	16	0	0	S	16	4	1	S	14	7	1	S	14	2	2									
14	藤 下	①	155	矢上小学校		15	7	1	S	16	0	0	S	14	6	0	S	14	4	1									
15	木 下	①	154	古賀小学校	S	16	0	0	S	16	5	1	S	14	5	0	S	14	8	1									
16	江 口	①	156	古賀小学校	S	16	2	2	S	16	3	0	S	14	2	1	S	14	10	1									
17	岡 部	①	149	矢上小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
18	西 川	①	164	古賀小学校	S	16	6	0	S	16	0	1	S	14	4	0	S	14	6	0									
				1P	160	4	33		160	6	8		140	12	20		140	14	12		0				0				
左 : 東長崎				2P		4	21			11	14			6	17			14	6										
右 : 相手チーム				3P		11	25			6	18			10	12			16	4										
				4P		18	22			8	6			12	22			13	11										
○=勝ち ●=負け				計	●	37	101		●	31	46		●	40	71		○	57	33										

5 所 感

1日目

ドリブルが手に付きません。パスがキャッチできません。ディフェンスはコロッと抜かれます。もちろんそんな練習はちゃんとやっています。但し、鍛え込んではいません。それは選手のほとんどが、「いける!」「そろそろ危なくなる」「それ以上はダメ」がわからないレベルだからです。ですから練習メニューは選手が「わかった」を拾えるような単純なドリルでしか提示しません。鍛えるというやり方は、わからない選手にとっては拷問やいたぶりでした。ひとつの事例を示します。2試合目の途中「ディフェンスはフルコートプレスに切り替える。ユルいディフェンスはするなよ。ボール奪取は常に狙え」と選手に伝えました。でも不安になったのでコートに出る準備をしている選手を呼び止めてA子に「つぎはどんなディフェンスをするんだ?」と聞きました。A子は「マンツーマンです」と答えました。私が言った上記のことばの中では①フルコート②ユルい③ボール奪取がキーワードです。A子はそのどれにも当てはまらないマンツーマンということばで答えました。

A子を例に出しましたが、これが全員に言えるのです。またこれは、バスケットの練習や試合の場面だけでなく、それ以外の言動を観察していても随所に見られる現象です。それは、見て学習する、聞いて学習するという習慣が身につけていないからにほかなりません。その習慣を身につけさせなければ鍛えるとう段階には進めません。

2日目

佐賀の城西中はとてもいいチームです。なのでひがながの試合が終わったあと、私は選手たちに「準決勝の城西対鳴北、城栄対横尾の試合を見てから帰るぞ」と言いました。ところが準決勝の試合が始まってもひがながの選手たちはコートが見渡せる場所に姿を現しません。1ピリ残り2分になってやっと2人が姿を現し、そのあととぼつとぼつ現れ始めましたが全員揃って観戦し始めたのはハーフタイムになってからでした。

私は帰る前にみんなを集め、「俺は準決勝が終わってから帰るとは言ってない、観てから帰ると言ったよな」と言いました。そして「全員が観戦し始めたのはハーフタイムだったけど、お前たちちょっとしたら昼食を食べてから試合を観た?」と聞いたらキャプテンが頷きました。私は「準決勝は今しか観られない。昼食は帰りのバスの中でも食べられる。違つか?」と言いました。言いながら全身の力が抜け、奈落の底に突き落とされた気分でした。

文責: 山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎 純 男

平成30年度 第27回西海杯バスケットボール大会 結果報告 (2日目)

- 1 場 所 大瀬戸総合運動公園体育館 西海中学校体育館
- 2 期 間 平成30年12月22日(土)・23日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 大崎			リーグ2 小江原			CONS1 西海			CONS2 山里						備考											
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	本 田	②	152	古 賀 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									突指骨折	
5	溝 脇	②	166	古 賀 小学校		24	10	1		0	0	1		0	0	0		0	0	0										
6	前 道	②	154	高城台 小学校		24	12	2		0	0	2		0	0	0		0	0	0										
7	緒 方	②	154	高城台 小学校	S	8	10	0	S	24	4	0		0	0	0		0	0	0										
8	小谷川	②	158	高城台 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										突指骨折
9	寺 島	②	163	高城台 小学校	S	8	4	0	S	32	8	0	S	28	6	3	S	28	5	3										
10	吉 田	②	150	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										忌引
11	本 多	②	151	矢 上 小学校		16	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
12	下 釜	②	147	高城台 小学校		24	14	2		8	0	2	S	28	4	2	S	28	4	2										
13	布志木	①	155	日 見 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										足甲疲労骨折
14	藤 下	①	155	矢 上 小学校		24	8	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
15	木 下	①	154	古 賀 小学校	S	8	6	0	S	32	8	0	S	28	6	2	S	28	14	2										
16	江 口	①	156	古 賀 小学校	S	8	4	0	S	32	13	0	S	28	3	3	S	28	9	3										
17	岡 部	①	149	矢 上 小学校		8	0	0		0	0			0	0			0	0											
18	西 川	①	164	古 賀 小学校	S	8	8	0	S	32	5	0	S	28	7	1	S	28	14	1										
				1P	160	32	4		160	6	33		140	4	16		140	12	8		0				0					
左 : 東長崎				2P		12	11			7	24			6	15			11	10											
右 : 相手チーム				3P		20	11			14	25			8	8			13	9											
				4P		12	5			11	10			8	11			10	12											
○=勝ち ●=負け				計	0	76	31		●	38	92		●	26	50		○	46	39											

5 所 感

1日目

1試合目の大崎戦。1Qの途中でフルコートディフェンスをやめ、ハーフコートディフェンスに切り替えました。理由は、ボール運びがままならない相手チームをフルコートディフェンスで痛めつけるのはスポーツ道に反すると思ったからです。そして、2Q~4Qはスタメンを全員下げ、ベンチメンバーで戦わせました。ベンチメンバーの中には、2プラトーンでやっていた頃に主力組で試合に出ていた選手が3人居ます。しかし、その3人は目付きや動きを観察していると主力組に復帰させるにはほど遠いということがあらためてわかりました。

その評価はスタメンにもあてはまりません。ベンチメンバーよりもバスケット技術や判断が少し少なかったというだけで、人間的な未熟さはベンチメンバーと何も変わらないからです。第2試合のスコアで説明します。ファウルがとても少ないのですが、これはファウルをしないディフェンスができたというのではなく、アツという間に敵を見失うか置き去りにされるからファウルすらできなかったという結果なのです。

なぜそうなるかという、やられたプレイから学習し、次はそれに注意しながらやるということができないからです。もっとさかのぼれば、部活動以前に家庭生活や学校生活や社会生活の中で人の話をよく聞き、人の動きを注意して見るという習慣が積み重ねられていないからです。

ブログや試合結果報告で再三述べているように、私はそのことを充分承知して毎日指導しているので試合では決して怒鳴りませんし、難しいことばは使いませんし、彼女たちがわかることばだけで試合を動かそうとします。しかし、私が試合中や休憩時間にかけることばは、彼女たちの頭上をサッと通り過ぎるだけで彼女たちのアタマにも心にも身体にも残りません。私がやることは、彼女たちが真摯に私のことばを受け入れるようになるまで粘り強く取り組むだけです。

2日目

案内文書に「平成を自分の生涯で誇れる年にして終わって欲しいと思います」と私は書きました。それをもとにして2試合目のハーフタイムに、この試合の感想は○か△か×かと選手に聞きました。○と答えた者は1人も居ませんでした。私は○でしたが、選手はおそらく「△か×と答えるのが無難だ」と思ったのです。そんなビビり根性では平成を人生で誇れる年にはできません。年末まで7回練習できます。最終日(30日)の練習は「誇れます」と言える終わり方をして欲しいと思います。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎純男

平成30年度 第7回佐世保協会杯近県中学生バスケットボール大会 結果報告(最終日)

- 1 場 所 総合運動公園体育館
- 2 期 間 平成31年02月23日(土)・24日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 福石			リーグ2 長与2			CONS1 祇園			CONS2 広田									備考								
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note	
4	本 田	②	152	古賀小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
5	溝 脇	②	166	古賀小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
6	前 道	②	154	高城台小学校		20	5	2	S	28	2	0	S	32	2	0	S	29	2	0										
7	緒 方	②	154	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		3	0	0										
8	小谷川	②	158	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		3	2	0										
9	寺 島	②	163	高城台小学校	S	28	4	2	S	28	7	2	S	32	19	1	S	32	23	2										
10	下 釜	②	147	高城台小学校	S	8	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
11	後 藤	②	152	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
12	本 多	②	151	矢上小学校		0	0	0		0	0	2		0	0	0		0	0	0										
13	西 村	②	154	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
14	藤 下	①	155	矢上小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		3	0	0										
15	木 下	①	154	古賀小学校	S	28	10	1	S	28	10	1	S	32	2	0	S	29	8	0										
16	江 口	①	156	古賀小学校	S	28	4	0	S	28	2	2	S	32	2	0	S	29	17	1										
17	布志木	①	155	日見小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0										
18	西 川	①	164	古賀小学校	S	28	14	1	S	28	2	3	S	32	10	0	S	32	5	2										
				1P	140	6	24		140	6	20		160	7	14		160	17	7		0				0					
左 : 東長崎				2P		12	21			4	16			7	21			14	11											
右 : 相手チーム				3P		12	14			6	19			11	14			13	8											
				4P		7	26			7	10			10	6			13	13											
○=勝ち ●=負け				計	●	37	85		●	23	65		●	35	55		○	57	39											

5 所 感

1日目

プレイの質は確かに上がっています。しかしそれは、「半年前の」自分たちよりは」を基準としてであって、対戦相手と比較してではないので、今日のように対戦相手が県大会のベスト4クラスになるとスコアはこのようなになります。解決策は自覚です。

今日は、試合に出す選手のことについて述べます。新チームになってからずっと、1ピリ・2ピリ・3ピリ・4ピリそれぞれメンバーを変え、エントリー選手も2年生の固定7人以外は3人ずつローテーションで組み込み、できるだけ多くの選手にユニフォームが行き渡り、コートに立てるようにしてきました。しかしそれも、12月下旬の市新人戦以降エントリーの組み方は変わりませんが、試合に出す選手は5人が6人と限定しています。そして今日の2試合目は遂に5人だけに絞り込みました。

それは、格下のチームが格上のチームに対してベストメンバーではない選手で臨むのは失礼千万だからです。「サービス出場はもうないぞ、試合に出たければ力を付けろ」なのです。今日の2試合目のメンバーが今のところベストメンバーかな？と思われる選手ですが、その中にも「この選手はちょっと…」という選手もいます。しかし、これ以上絞り込むことはできないので仕方ありません。応援に来られるひがながの先生方や保護者の方々には気の毒ですが、試合は真剣勝負の場なので、シーズン後半になればお楽しみ時間は作ってやれないことをご理解ください。

私は勝利至上主義コーチではありませんが、試合に出して賞える努力をしない者にも平等にコートに立つチャンスを与えるのはむしろ、教育的配慮に欠けた指導だと私は思います。

2日目

2試合目の1ピリが半分過ぎた頃、相手チームがタイムアウトを取った時にベンチの選手たちの中からA選手を指名して「この時点でベンチメンバーとして思っていることを言ってみろ」と問いましたが返事は「…」でした。ハーフタイムにまた同じことを残りの全ベンチメンバーに問いました。すると1人だけB選手が手を挙げて「このままの試合展開だったら私にも出番が回ってくるかもしれない、です」と答えました。大正解です。これ以外はありません。でも1人だけ。あと4人は同じ思いの選手がいなければなりません。この事例を含めて、選手の一挙手一投足から「みなさん是非試合を観に来てください」はまだ見つかりません。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦 ゆかり  
コーチ 山 崎 純 男

平成30年度 長崎市中学校総合体育大会 結果報告 (初日で終了)

- 1 場 所 純心女子高校
- 2 期 間 平成30年06月09 (土) - 11日 (日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				1回戦			片瀬			2回戦			3回戦			準決勝			決勝			備考			
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	渡 辺	③	160	日 見 小学校	S	32	22	0																	
5	古 場	③	161	古 賀 小学校	S	21	3	0																	
6	町 田	③	151	高城台 小学校		24	1	3																	
7	山 本	③	160	矢 上 小学校		9	0	0																	
8	井 手	③	153	高城台 小学校	S	9	4	0																	
9	寺 島	②	163	高城台 小学校	S	28	4	0																	
10	持 永	③	161	矢 上 小学校																					
11	佐 藤	③	153	高城台 小学校																					
12	宮 澤	③	150	高城台 小学校																					
13	石 橋	③	156	矢 上 小学校																					
14	萩 原	③	164	高城台 小学校																					
15	濱 邊	③	153	高城台 小学校																					
16	小谷川	②	158	高城台 小学校		10	0	3																	
17	緒 方	②	154	高城台 小学校		16	2	3																	
18	西 川	①	164	古 賀 小学校	S	11	2	0																	
				1P	160	9	13		0				0				0					0			
	左	:	東長崎	2P		10	15																		
	右	:	相手チーム	3P		11	6																		
				4P		8	12																		
				計	●	38	46																		

5 所 感

1日目で終了

試合時間が残り1分30秒で8点差になった時、勝敗の行方が決まりました。その1分30秒で、まったく試合に出ていない3年生をコートに送り出すことはできました。しかしそれをやってはなりません。勝っているチームが残り時間に何か起こっても逆転されない状態でそんなことをするのはマナー違反でも何でもありませんが、負けているチームが力不足の選手を思い出作りのために登用するのは相手に対して失礼千万なことです。私のブログで述べた「3年生にとって思い出深いものにしてやる」とは、そんなことではありません。

残り1分30秒で8点差になった時に勝敗の行方が決まったと言いましたが、実はバスケット的にはまだ勝機はあります。「速攻めだ!」「プレス!」「ダブルチーム!」「ファウルゲーム!」など、勝ちに繋げるプレイを指示することはできますが、問題は指示を聞いた選手たちが、その指示を実行した時の試合の様相をイメージできるかどうかということです。できません。混乱するだけです。ですから、現在私の目の前にいる選手が分かるプレイを取り上げ、わかることばで指示してやらなければ私の指示はプレイに反映されないのです。

今日試合に出た選手、ミニバスから継続的にバスケット経験がある者(6年目2人、5年目2人、2年目2人)と中学から始めた者3人計9人の中で、私の指示が少しはわかるだろうと思われる者が1人だけ。他はミニバスの経験あるなしや経験年数の長短にかかわらず、ほぼ全員わかりません。

私は仕事に縛られることがないので、他の教員やコーチよりもコートに居て選手たちに目を配る時間が圧倒的に多いと思います。しかも、鶴鳴時代と比べて厳しさは残しつつ、無謀や無駄をなくし、わかりやすく教えているつもりです。でも現状はこうです。

私はあちこちから要請を受けて全国各地でクリニックをします。対象は高校・中学・ミニが主体です。期間は3日間または2日間が多く、たまに日帰りもあります。これらのクリニックすべてにおいて、私は受講生に「わかったぞ」をおみやげに置いてきました。クリニックでの教え方とひがながでの教え方に違いはありません。なのにひがながとクリニックにはこのような差が出てきます。この正体を突き止めなければなりません。

明後日から新チームでの練習になりますが、2年生のミニバス経験者の中に「わからない」「イメージできない」が多いので、その原因を究明するのが新チームの最優先事項になります。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦 ゆかり  
コーチ 山 崎 純 男

第47回 長崎新聞社杯争奪長崎市中学校バスケットボール大会 結果報告 (初日)

- 1 場 所 長崎大学附属中学校体育館
- 2 期 間 平成30年04月21 (土)・22日 (日)・28日 (土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール			1回戦			横尾			2回戦			3回戦			準決勝			決勝			備考						
#	名前	年 身長 出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	渡 辺	③ 160 古 賀 小学校	S	32	19	3																					
5	古 場	③ 161 古 賀 小学校	S	13	0	1																					
6	町 田	③ 151 高城台 小学校		3	0	0																					
7	山 本	③ 160 矢 上 小学校																									
8	井 手	③ 153 高城台 小学校	S	11	5	0																					
9	寺 島	② 163 高城台 小学校	S	18	0	1																					
10	溝 脇	② 166 古 賀 小学校		14	0	2																					
11	小谷川	② 158 高城台 小学校		21	7	1																					
12	下 釜	② 147 高城台 小学校																									
13	前 道	② 154 高城台 小学校																									
14	江 口	① 156 古 賀 小学校																									
15	木 下	① 154 古 賀 小学校																									
16	藤 下	① 155 矢 上 小学校																									
17	緒 方	② 154 高城台 小学校		16	0	4																					
18	西 川	① 166 古 賀 小学校	S	32	5	0																					
			1 P	160	7	14		0			0				0				0								
	左 : 東長崎		2 P		12	23																					
	右 : 相手チーム		3 P		10	30																					
			4 P		7	32																					
	○=勝ち ●=負け		計	●	36	99																					

5 所 感

1日目終了

はじめに、選手起用について述べます。出場時間が表すのは「お前は戦力でなければならないだろう」と「たくさん勉強してこい」です。新入生は後者に該当します。案内文書では#17は布志木美結①でしたが、昨日急遽緒方穂乃花②に変更しました。ミユは昨日股関節が痛いといって整形外科医院で診察して貰い、病院の先生の指示に従って学校に戻らず部活にも参加せずに帰宅したからです。

例えそれが軽傷であったとしても、私に連絡もせず病院受診し、その結果を報告もしない選手を試合に出すわけにはいきません。まだ1年生ですからほうれんそう(報告・連絡・相談)の重要性はわからないでしょうから、これから躰をしていきます。

次に述べることもほうれんそう関連です。昨日ひがながは日吉自然の家で練習しましたが、その帰りの車中で私は次のように選手に伝えました。「明日は学校発8時半だが、バイパスを通過して附属中に行くので、学校→鶴の尾→松原→古賀→つつじヶ丘→古賀市布インターというコースになる。だから、途中乗車ができる者は学校まで出てこなくて最寄りのバス停で乗車してよい」

この日、専門委員会では9人の選手が練習に参加できませんでしたが、こんな時私は「今日来てない選手にも連絡してやれよ」とは言いません。なぜなら、大人が指示すれば動くけど指示しなければ自分で判断したり推測したり気配りをしたりできない子のまま進級することになるからです。

家の近くのバス停から乗車できるのに学校まで来てバスに乗った子がいたので私は「やっぱりそうか」と思い、そのことについて全員がバスに乗ったところで大喧嘩しました。「昨日の俺の話のあとすぐAちゃんとBちゃんにはこのことを今夜知らせてやらなければならないね」と気付かなければならないだろう!しかも、こんなことは年がら年中言っている!こんな人間の集まりにチームプレーができるワケがない!

3つ目。試合中にベンチで、仲間の試合ではなくジューッと向かい側の試合の成り行きを覗いている選手が居ました。心ここにあらずです。そんな選手にも「経験を積んでこい」とユニフォームを着せてやるのです。これはひがながの選手たちの質が悪いというグチではありません。どこも同じ。おとながしっかりしなければ日本は滅びます。文責:山崎



関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎 純 男

平成30年度 長崎市中学校総合体育大会バスケットボール競技新人大会 結果報告 (2日目)

- 1 場 所 片淵中学校・小島中学校
- 2 期 間 平成30年12月08(土)・09日(日)・15日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				1回戦			2回戦			3回戦			準決勝			決勝			備考						
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古賀小学校		0	0	0		0	0	0													
5	溝 脇	②	166	古賀小学校		0	0	0		0	0	0													
6	前 道	②	154	高城台小学校		0	0	0		16	0	0													
7	緒 方	②	154	高城台小学校	S	16	5	1	S	8	0	0													
8	小谷川	②	158	高城台小学校		0	0	0		0	0	0													指骨折
9	寺 島	②	163	高城台小学校	S	32	20	1	S	26	1	3													
10	後 藤	②	152	高城台小学校		0	0	0		0	0	0													
11	吉 田	②	163	高城台小学校		0	0	0		0	0	0													
12	下 釜	②	147	高城台小学校		8	0	0		8	0	0													
13	布志木	①	155	日見小学校		0	0	0		0	0	0													足甲疲労骨折
14	藤 下	①	155	矢上小学校		8	2	1		6	0	1													
15	木 下	①	154	古賀小学校	S	32	16	1	S	32	5	2													
16	江 口	①	156	古賀小学校	S	32	7	3	S	32	4	1													
17	西 村	②	154	高城台小学校		0	0	0		0	0	0													
18	西 川	①	164	古賀小学校	S	32	6	2	S	32	5	2													
				1P	160	15	12		160	0	29		0		0		0		0		0				
	左	:	東長崎	2P		16	11			7	31														
	右	:	相手チーム	3P		14	16			4	29														
				4P		11	16			4	29														
				計	0	56	55		●	15	118														

5 所 感

1日目

ツープラトーンをやめ、とどろきカップ2日目(11月25日)以降、寺島・緒方・木下・江口・西川をスタメンとし、それに藤下・下釜・本田を時々交替させるというやり方で試合を進めています。ですが、交替要員はもちろんのことスタメンの5人ですら「この選手がコートに居れば大丈夫」と言える選手は1人も居ません。

そんな中、公式戦でようやく片目が開きました。普通の中学生の女の子なら、1点差の際どい勝負でしかも公式戦初勝利ならば「キャー」とか言って仲間同士ハイタッチでもして喜ぶところでしょうが、今日の試合は無言でシンとしたまま終わりました。観戦者の中には「ひがながは暗い」などと評する人が居るかも知れませんが、それは当を射ていません。彼女たちは自分自身のことを「本当によく頑張った」とも「日頃指摘されている弱点をクリヤーできた」とも思っていないから初の1勝を手放して喜べないのです。

とどろきカップもそうでしたが、今日の試合も私は、勝利を目指すための指示はしませんし、勝利を目指すためのタイムアウトもとりません。ただただひがながの選手1人ひとりに対して声かけをだけです。ですから、今日の試合の結果は私の采配によって選手が勝たせて貰った試合ではありません。では、勝負を左右するようなギリギリの場面で選手がしっかりした判断で凌いだかということではなく、偶然の結果がたくさんあります。それでも私の采配で勝たせてやった試合ではありません。こんな経験を積み重ねながらいつかホンモノになって欲しいと思います。

2日目

分かっていたことではありますが、試合になりませんでした。観戦者のほとんどが「ひがながは三重のスピードについていけなかった」という感想を持っていると思います。確かにそうですが、それは体力的スピードの差ではありません。目です。目が試合の様相の変化についていけないのです。走る練習を増やせば解決する問題ではありません。

それは、試合や練習中だけでなく、生活全般に言えることです。彼女たちは、コート以外の生活の中で自分の周辺で起こる出来事を見てはいるのですが、ただボーッと見ているだけで何かを探そうと思って見てはいないので、そこで起こる出来事や他人の表情のちょっとした変化から「こんなことが起こる**かもしれない**」や「あの人はこう思っている**かもしれない**」を見付けられないのです。そこから改良しなければなりません。文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎純男

平成30年度 第7回とどろきカップ 結果報告 (最終日)

- 1 場 所 とどろき体育館
- 2 期 間 平成30年11月24日(土)・25日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 小野			リーグ2 小ヶ倉			CONS1 北諫早			CONS2 明峰									備考											
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古賀小学校		11	0	0		14	2	0		4	1	0		0	0	0													
5	溝 脇	②	166	古賀小学校		16	0	1		10	2	0		1	0	2		0	0	0													
6	前 道	②	154	高城台小学校		10	4	0		0	0	0		1	0	1		0	0	0													
7	緒 方	②	154	高城台小学校		16	2	0		22	0	2	S	28	6	2	S	28	6	2													
8	小谷川	②	158	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0													突指骨折
9	寺 島	②	163	高城台小学校		16	14	4		24	12	1	S	27	10	2	S	27	15	1													
10	松 尾	②	148	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0													
11	原	②	155	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0													
12	下 釜	②	147	高城台小学校		16	11	0		12	0	0		0	0	0		8	2	1													
13	布志木	①	155	日見小学校	S	15	0	0	S	5	2	0		0	0	0		0	0	0													
14	藤 下	①	155	矢上小学校	S	14	0	0	S	8	0	0		2	0	0		0	0	0													
15	木 下	①	154	古賀小学校	S	16	2	2	S	24	6	0	S	28	2	2	S	21	10	2													
16	江 口	①	156	古賀小学校	S	14	0	0	S	20	0	0	S	22	8	1	S	28	8	1													
17	持 永	①	161	矢上小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0													
18	西 川	①	164	古賀小学校	S	16	4	0	S	21	2	0	S	27	12	1	S	28	9	3													
				1P	160	2	24		160	4	24		140	10	12		140	7	7		0				0								
左 : 東長崎				2P		10	9			8	14			12	21			16	7														
右 : 相手チーム				3P		4	22			4	18			10	13			10	14														
				4P		21	4			10	20			7	14			17	5														
○=勝ち ●=負け				計	●	37	59		●	26	76		●	39	60		○	50	33														

5 所 感

1日目

新チームになった最初のカップ戦(ゼロカップ8月5・18)のスタメンは2年生で行きました。その1週後のコヤスポカップの初戦は寺島+1年生4人でスタメンを組みました。9月上旬の市会長杯から11月3・4の南島原杯の1戦目まではコヤスポカップと同じスタメンで行きましたが、南島原杯の2戦目以降はテラホノを2年生組に戻し、1年生5人と2年生組(7人)の2プラトーンで行くようにしました。2年生が頭打ちだからです。

しかしそのやり方も今日の1戦目の途中から変えました。その目(見つける力や見極める力)は公式戦で使うには無理だという選手が2年生に4人、1年生に2人居るので2プラトーン編成ではどちらの小隊も成立しないのです。もちろんそれは2プラトーン編成当初から承知していたことです。ですがそれは、経験を重ねることで緩和されていくものだと思っていました。しかしそれが、2年生は1年半練習を重ねても改善されず、1年生は半年経った今改善どころか「こんなことがまだ見えないのか」が発覚するという現状です。

というわけで2小隊を合体させて戦わざるを得なくなったのです。2プラトーンでは出場時間の最高が16分を越えませんが、2プラトーンを解いた2戦目のボックススコアでは16分を越えている選手が5人(緒方・寺島・木下・江口・西川)居ます。ではこの5人が理想のメンバーかというところではなく、「この子の目は危ないが今のところこれで行くしかない」という状況なのが辛いところです。

最終日

①技術が下手だから潰れる②状況を見る目が悪いから潰れる③憶病だからちょっとした事件で潰れる、の3つのうち①を解決するのは簡単です。②と③はやっかいです。②に難点がある6人をなんとかしようとしてここまでやってきましたが、その見通しが立たなくなったので今日から緒方・寺島・木下・江口・西川のスタメンで行くことにしました。無念ですが今後しばらくこの方針は変えません。

昨日も述べたようにこの5人が理想のメンバーではなく①②③がないわけではありませんがこれで行くしかありません。初戦の北諫早戦は、負けたものの今期最高の頑張りでした。理由は③に問題ありの江口が目覚めたからです。しかし、頑張ったあとは反動が来るもの。明峰戦はヨレヨレで、4ピリ途中4点差まで追い上げられました。でもそこでもう1回踏ん張りました。この結果は彼女たちの人生における大きな財産になったと思います。

文責：山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦ゆかり・野田希世美  
コーチ 山崎 純 男

平成30年度 第24回 時津・長与協会杯中学生バスケットボール大会 結果報告 (最終日)

- 1 場 所 高田中学校
- 2 期 間 平成30年10月06日(土)・13日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 鳴北			リーグ2 琴海			CONS1 高田			CONS2 大瀬戸									備考							
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古賀小学校		0	0	0		2	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0					
5	溝 脇	②	166	古賀小学校		2	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0					
6	前 道	②	154	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0					
7	緒 方	②	154	高城台小学校		5	0	0		5	6	2		8	0	0		6	0	0									
8	小谷川	②	158	高城台小学校		4	0	0		7	6	1		10	8	0		10	0	1									
9	寺 島	②	163	高城台小学校	S	8	0	0	S	7	4	0	S	12	2	1	S	14	7	1									
10	目 良	②	148	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
11	下 釜	②	147	高城台小学校		2	0	0		4	2	0		3	4	0		0	0	0									
12	長谷川	①	142	矢上小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
13	布志木	①	155	日見小学校	S	8	0	0	S	8	2	1	S	3	2	0	S	4	0	0									
14	藤 下	①	155	矢上小学校		5	0	0		6	0	1		3	0	1		4	0	0									
15	木 下	①	154	古賀小学校	S	12	10	0	S	12	4	0	S	6	0	0	S	4	2	3									
16	江 口	①	156	古賀小学校	S	12	4	0	S	10	0	0	S	12	4	1	S	14	4	0									
17	田 中	①	154	高城台小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
18	西 川	①	164	古賀小学校	S	12	2	0	S	9	0	1	S	13	6	0	S	14	7	0									
				1P		70	6	28		70	12	15		70	13	8		70	11	26		0				0			
	左	:	東長崎	2P		10	21			12	22			13	20			9	20										
	右	:	相手チーム	3P																									
				4P																									
				計	●	16	49		●	24	37		●	26	28		●	20	46										

5 所 感

2日間開催の予定を台風の影響により初日と最終日を合体させてハーフゲームとし、1日で終了した。

単純なキャッチミスをする、ドリブルの終わりにお手玉をして相手に奪われる、ゴール下でぼんやり突っ立っていてリバウンドボールを相手に取られるなどなど、素人の域レベルの未熟なプレイが頻繁に出ます。ですが、パスやキャッチの練習、ドリブルワーク、リバウンドジャンプやボックスアウトの練習をたくさんやらせればこれらの問題が解決するかとそうではありません。

私の指導は鶴鳴時代からそうですが鍛えるという段階は最後の最後です。まず「わかるようになる」から始め、わかるようになったら「できるようになる」を目指します。できるようになったらそれを「より速くより強く」できるようになる即ち鍛える段階へと進みます。鶴鳴では鍛える段階へ進めたのは35年間居た中で平成3年・7年・8年の3回だけです。

ひがながでは、わかるようになったのが現在の高3が中3だった時だけでその後は「わかった」にはほど遠い状態が続いています。だから冒頭で述べた素人の域レベルの未熟なプレイが頻繁に出るのです。この「わかった」にも段階があります。「わかった」の次の段階を順番に並べるとA「わからないことが悔しい」B「わからないことが気になる」C「自分がわかっていないことがわかっていない」となります。

わかるようにならない理由は個人の資質によってさまざまですが、私は選手全員のそれをすべて把握しています。①真剣に説明を聞くけど脳内でイメージ処理できない(主として右脳の機能)。②真剣に説明を聞くけど説明の中で自分が取り込んだことばだけを膨らませて自己決済する。③説明を聞き取ることができない。④一応聞くフリはするが「でも…」と自分を正当化する理由を見つけてやるとする。⑤闘争心をコントロール(鼓舞する制御するの両方)できないなどです。ですから、説明するにも叱るにも褒めるにも個人の特性を踏まえて指導しなければなりません。

さて、現在のチームの「わからなさ」レベルを分析してみます。試合の案内文書や報告文書、その他ブログに載せる記事は全国の若いコーチが勉強するときの参考にしてもらうために私のHPで公開するので、私のグチャやチームや個人の中傷にならないでしかも若いコーチの参考になるよう気をつけて書かなければなりません。それを踏まえて、A「わからないことが悔しい」レベルの選手が1人でも2人でも出てくれば、わかるようになった→できるようになったは早いと思います。でも、それがいつごろ?と言われてもそのメドは立っていません。文責:山崎

関係各位

長崎市立東長崎中学校  
女子バスケットボール部  
顧問 浦 ゆかり  
コーチ 山 崎 純 男

平成30年度 第23回ゼロカップ 結果報告 (最終日)

- 1 場 所 福石中学校・祇園中学校
- 2 期 間 平成30年08月05(日)・18日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				リーグ1 唐津1			リーグ2 相浦			敗者1 佐北			敗者2 城北									備考							
#	名	前年	身長	出身	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	S	時間	点	F	Note
4	本 田	②	152	古 賀 小学校		4	0	0		7	0	0		6	0	0		6	2	1									
5	溝 脇	②	166	古 賀 小学校	S	14	0	1	S	12	2	0	S	9	4	0		4	0	0									
6	前 道	②	154	高城台 小学校		7	0	0		4	0	0		0	0	0		0	0	0									18日はリソナ
7	緒 方	②	154	高城台 小学校	S	10	0	0	S	10	2	0	S	8	0	2		7	2	0									
8	小谷川	②	158	高城台 小学校	S	9	0	3	S	10	2	0	S	8	0	0		5	1	0									
9	寺 島	②	163	高城台 小学校	S	14	4	1	S	11	4	1	S	25	21	1	S	22	24	1									
10	松 尾	②	148	高城台 小学校						2	2	0		0	0	0		0	0	0									
11	原	②	155	高城台 小学校		3	0	1		2	0	1		0	0	0		0	0	0									
12	下 釜	②	147	高城台 小学校	S	9	0	0	S	12	2	0	S	14	0	0	S	6	0	0									
13	布志木	①	155	日 見 小学校		14	8	2		14	2	0		20	6	2	S	22	9	1									
14	藤 下	①	155	矢 上 小学校		14	0	1		14	5	3		9	2	0		19	18	0									
15	木 下	①	154	古 賀 小学校		14	0	0		14	0	0		19	0	1		21	13	0									
16	江 口	①	156	古 賀 小学校		14	7	0		14	13	0		21	8	1	S	23	5	1									
17	持 永	①	161	矢 上 小学校		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0									
18	西 川	①	164	古 賀 小学校		14	2	0		14	1	2		21	21	1	S	25	14	1									
					1P	140	2	18		140	7	13		160	10	14		160	20	2		0			0				
	左	:	東長崎		2P		8	13			8	23			14	8			24	9									
	右	:	相手チーム		3P		2	15			7	25			16	10			28	5									
					4P		11	14			13	12			22	13			16	12									
					計	●	23	60		●	35	73		○	62	45		○	88	28									

5 所 感

1日目(8月5日)

①勝ち負けについては予想通りでした。②ツープラトンで臨む是非についてはわかりませんでした。やってみた結果「今年1年はこのやり方で通した方がよい」という結論に達しました。

①について解説します。訓練の成果は“わかる→できる”で成り立っています。ドリブルを例に用いて説明します。できるようになるのは“手”ですが、使うべき場面と使ってはならない場面がわかるのは“目”です。ひがながバスケットには、わかるまでにとっても時間がかかるか、いつまで経ってもわからない選手がたくさんいます。それが①の理由です。いつまで経ってもわからない選手は、コーチの話をちゃんと聴かないからわからないタイプと一生懸命聴くけどわからないタイプに分かれます。後者は能力の問題ですから責めてはいけません。

②について解説します。2年生軍団と1年生軍団はいろんな意味で異質の2つの群れです。異質な2つの群れを混ぜて戦えばそれぞれの良さが互いを消しあい、それぞれの弱点が増幅される可能性があるので混ぜることは良くないと考えました。今後、ツープラトンで進めていくうちに力を付けてきた群れが出場時間の多くを占め、力不足の群れは時間繋ぎ的な出場になってくるでしょう。どちらが主力の地位を掴むかはそれぞれの群れに所属する選手が「私は時間繋ぎの群れの一員にはなりたくない」と思うか思わないかにかかってくると思います。

2日目(8月18日)

1戦目の前半でツープラトン構想は破綻しました。理由は、第1小隊単独では戦えないと判明したからです。さりとて第2小隊だけではまだ力不足で戦えません。そこで第2小隊を主戦力にして第1小隊から補強しながら戦わざるを得なくなりました。

戦力として起用できない選手の大半は、気付く→実践する→学ぶの学習サイクルが確立していません。それを今日の出来事で分かりやすく解説します。2戦目終了後の次の試合は私が審判でチームはT.Oでした。T.Oのモップ係にはモエカが座っています。モエカはマネージャーとしてのスコア集計があるので誰かが気を利かして替わってやらなければなりません。T.O以外の選手たちは控え室周辺でぶらぶらしています。バスケットを学びたいのならば、全員が他のチームの試合を観戦して勉強しなければなりません。このふたつの出来事で、ひがながは組織として成り立っていないと言えます。ふたつとも、私が事前に指示したらできたかもしれませんが、それは私の指示で動いただけ。自分の気付きで行動を起こしたことはなりません。文責：山崎